

下野市立国分寺西小学校

1 学校課題

基礎・基本をもとに、主体的・協働的に学習する子どもの育成
～学び合いのある言語活動を活かして～

2 研究計画

(1) 基本方針

- ・理論と実践を踏まえた研究
- ・実践的な授業研究の推進
- ・共通理解を基盤に積み上げのある相互研究
- ・仮説に基づく主体的な日常実践

(2) 研究内容

① 一人ひとりが研究主題に迫るための授業改善に主体的に取り組む。

- ・授業の仮説を立てながら積み上げの授業を実践する。
- ・公開授業の他に一人1授業を校内で公開する。
- ・授業の話題を共有し、授業者一人の研究としない。
- ・日々の授業の振り返りを心掛ける。

② 授業研修会の充実を図る。

- ・指導案検討会は、全校体制で指導案検討する。
- ・授業者は、研究主題への迫り方（とらえ方）を明記する。
- ・観点に沿って検討する。
- ・研究授業後の参観者全員による意見交流の中で授業改善を図る。

③ S&Uコラボ事業を積極的に活用し、研修の活性化を図る。

3 研究内容

(1) 授業研究の概略

時期	教科	授業者 (学年)	備考
4月			今年度の研究計画共通理解 ・研究内容の説明 ・授業者決定
6月 1日(水)	算数		要請訪問(講話)市教委 田澤指導主事
6月 8日(水)	道徳	(5年)	中山先生の示範授業・講話
6月 22日(水)	算数 (S&U)	(2年)	指導案検討会(全体会) 校内研修会(授業研究会) 宇都宮大学 日野圭子先生
11月 2日(水)	算数 (S&U)	(4年)	指導案検討会(全体会) 校内研修会(授業研究会) 宇都宮大学 日野圭子先生
12月 7日(水)	算数 (要請訪問)	(6年)	指導案検討会(全体会) 校内研修会(授業研究会) 市教委 稲見指導主事
1月 25日(水)			今年度の学校課題の成果と課題 研究のまとめの作成 来年度の研究計画の作成

(2) 研究の実際

①第1回研究会

2年 算数 単元名「長さ(1)」

任意単位での測定の問題点を考えさせるため、七夕まつりで使う短冊の長さを比べるという、実生活との関連をもたせた題材を活用した。また、短冊の長さを同じにするためにはどうしたらよかったか、その方法をまず個人で考え、ことばや図を使って書いた後、友達と交流する活動を行った。振り返りは、記述式で行った。



②第2回研究会

4年 算数 単元名「垂直、平行と四角形」

実生活と関連付けた題材により学ぶ意欲を高めるため、校外学習で行く益子の絵地図をもとにした自作マップを単元を通して活用した。本時では、台形や平行四辺形の特徴を見出すため、絵地図の中から、様々な四角形を見つけて仲間分けをした。仲間分けの活動は、半具体物を操作しながら行った。ホワイトボード等、自分の考えを表現し友達と交流するツールを工夫し、主体的な学習をねらった。



③第3回研究会

6年 算数 単元名「場合の数」

ものの組み合わせ方について、起こり得る場合を順序よく整理して調べるため、校長室で2人ずつ会食をするという、毎年恒例の行事を課題の場面とした。全体で意見を交流し、よりよい数え方を考えた。振り返りとして、本時の学習で分かったことや疑問に思ったことを言葉で書く活動と、実際にくじを引いてペアを決める活動を行った。



4 本年度の成果と課題

(1) 成果

- ① 課題場面の設定を工夫したことにより、主体的に学習を進めることができた。
- ② ホワイトボードに書いたり、半具体物を操作したりするなどの手立てを工夫したことにより、自分の考えをもち、それを表現することができた。
- ③ S&Uコラボ事業により、継続的に大学の先生のご指導をいただくことができ、次に活かしながら授業を積み上げることができた。また、研究会には、他校のたくさんの先生方の参加があり、多様なご意見をいただいて、充実した研修の場となった。



(2) 課題

- ① 振り返りの活動を工夫してきたが、学習のねらいに即した効果的な振り返りの手法について、さらに研究していきたい。
- ② 自分の考えを表現し、それを友達に伝える姿は認められたが、「学び合う」までには至らなかった。「学び合い」における発達段階ごとの目指す児童像を設定し、指導に役立てるなど工夫したい。